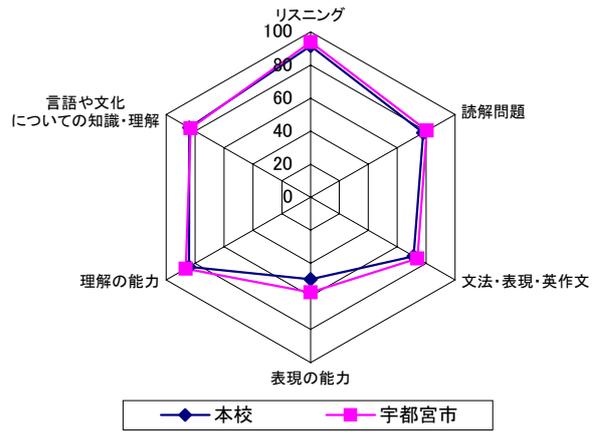


宇都宮市立上河内中学校第2学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	91.5	93.8
	読解問題	78.0	80.4
	文法・表現・英作文	71.5	73.9
観点別	表現の能力	49.7	57.4
	理解の能力	84.1	86.5
	言語や文化についての知識・理解	84.0	83.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (91.5%)	・正答率は90パーセントを超えており、英語での問いかけに回答したり、短い英文を聞き取る力をつけてきている。日頃からclassroom Englishをはじめ多くの英語を使いながら授業を行っていることやALTとの協同授業でネイティブの英語発音を数多く聞くことが役立っている。しかし、まとまりのある英文を聞いて内容を理解したり、問いかけに対しての回答の仕方を十分に身に付けていないと思われる。	・今後もより多くの英語を使用して授業を進め、積極的に英語を聞き取ろうという気持ちを育てたい。リスニング能力を高めるために、日頃から場面に応じての英語での発問や言語活動を行い、大切なポイントの聞き取りやそれに適切に回答する力を身につけさせたい。また音声によるコミュニケーション能力を高めるためにも、既習の言語材料を用いた対話練習や、場面を設定した言語活動をこれからも続けていきたい。さらにALTを積極的に活用し、英語に触れる機会を増やしていきたい。
読解問題 (78.0%)	・授業で英語特有の表現などに注意させ、また教科書の本文を用いて継続的にQ&AやTFを行っているため、少しずつ読解力はついてきている。しかし、生徒達の語彙が少ないことや比較的分量のある英文に触れる機会が少なかったため、まとまりのある長い問題などでは正確に読みとる力が身に付いていない生徒が多い。今後分量のある英文に触れさせていきたい。	・生徒にとって教科書以外長い文章に触れることが少なく、一文一文解釈することに集中しがちである。読みとりのポイントを十分に指導し、英文の概要や要点を的確にとらえる力をつけさせていきたい。その時基本となる英語の語彙、基本文法、問いかけに対する回答の仕方を身に付けさせる必要がある。基本的な単語、基本文を定着させるために活動を工夫しながら生徒の語彙力を高めさせたい。今後分量のある英文に触れさせていきたい。
文法・表現・英作文 (71.5%)	・言語や文化についての知識・理解の問題では市平均を上回ることができた。基本文や単語は授業で何度も繰り返し発音させているため、文型が定着し、並び替えの問題や基本的な文法は正答率が高くなってきている。しかし、表現力が弱く、表現力をつけることが本校の英語学習において大きな課題である。和文英訳の問題では正答率は低い。これは語彙が少なく、基本的な単語や表現が生徒に十分定着していないためと見られる。	・表現力を高めるために、ALTとの協同授業を通して、英語でのコミュニケーションの楽しさを感じさせ、積極的に学習する意欲を育てたい。また場面に応じて使用する言語材料をしっかりと把握できるよう、文法事項の導入では身近な場面を設定するなど工夫したい。表現の能力がまだ十分でなく、特に書く力をつけさせるために基本となる語彙や基本文の定着を徹底することが必要である。そのためには繰り返し書く活動を授業だけにとどまらず、課題として家庭で継続的に行うように指導していきたい。今後単語テストを行うなど継続的な指導が必要である。